

涌谷町健康増進計画

**第二次
わくや健康ステップ21計画
後期計画**

計画期間 2018年度～2022年度

**平成30年3月
宮城県涌谷町**

目 次

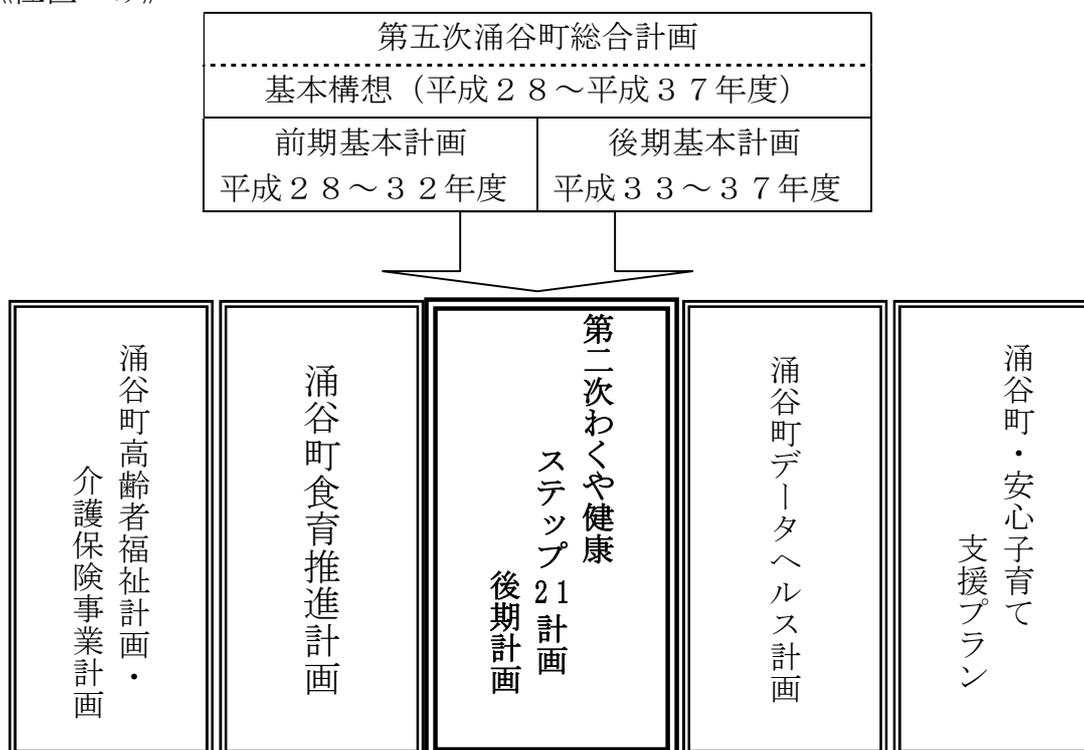
1	第二次わくや健康ステップ2 1 計画の位置づけと計画期間	P 1
2	目指す姿と現状について	P 2
3	基本理念と目指す健康目標	P 3
4	中間評価と後期計画の重点項目の考え方	P 4
5	後期計画重点項目と目標	P 7
6	後期計画目標と行動計画	P 8
7	評価指標	P 10
8	計画の推進体制	P 13
9	計画の進行管理・評価体制	P 13
10	後期計画策定の経過	P 14
	統計資料	P 15～22

1. 第二次わくや健康ステップ21計画の位置づけと計画期間

「わくや健康ステップ21計画」は、健康増進法第8条2項に規定する市町村健康増進計画で、乳幼児から高齢者までの全ての町民を対象とした健康づくり計画である。

平成15年度策定の初期計画を、平成25年度に評価見直しを行い、第二次計画として推進し前期5年間を終了した。今回、中間評価を実施することで、課題や今後の方向性の検証を行い、『健康寿命100歳』を目指し、町民一人ひとりの健康的な生活の実現に向け、施策の効果的な取り組みを実践する計画として後期計画を策定した。

《位置づけ》



（計画期間 H30～34年）

《計画期間》

H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
第二次計画開始				中間評価・計画策定	第二次後期計画開始				最終評価

2. 目指す姿と現状について

町中が元気と笑顔にあふれ

家族・地域がふれあい ともに歩む健康わくや

若い人には元気で働いていて欲しい

高齢者は自分のことは自分でできるようにあって欲しい

子どもは小さい頃から健康な生活をして病気になるまいと欲しい

町や地域と交流しながら生活していきたい

でも、涌谷町の現状は・・・

健康寿命などを阻害していると思われる主な原因

県平均より

平均寿命が短い

(全死亡年齢調整死亡率が高い)

県平均より

がん死亡率が高い

介護認定を受ける方は年々多くなり、

脳血管疾患や認知症、筋力や骨の弱さが原因

肺炎による死亡者が多い

65歳未満の方は、

大腸がん・肺がん・乳がん

による死亡が多い

今後、

透析者が増える可能性がある

阻害要因の原因となっている病気など

県平均より

高血圧で服薬中の人が多い

県平均より

糖尿病で服薬中の人が多い

県平均より

脂質異常で服薬中の人が多い

県内の中でも

成人肥満者が多い

健診の結果をみると、

血圧が高めの人が多い

健診の結果をみると、

血糖が高めの人が多い

健診の結果をみると、

脂質の異常者が多い

子どもの肥満の割合が多い

病気の原因となっている生活習慣など

子どもは野菜不足傾向

運動習慣のない人が多い

特定健診やがん検診の受診率が低い

宮城県のアルコール摂取量が多い(アルコール購入費が多い)

子どものむし歯が多い

子どもはジュースなどからの糖分の取りすぎ傾向

子どもの体力測定結果が低い

精密検査の受診率が低い

国保加入者の喫煙率が高い

塩分摂取が多い(みそ汁塩分濃度が高い)

3. 基本理念と目指す健康目標

基本理念

町民の方々一人ひとりが、病気の予防に加え、健康づくりに主体的に取り組むことを通して、仲間づくり・地域づくりに発展していけるようになる。

涌谷町が目指す健康目標

町中が元気と笑顔にあふれ
家族・地域がふれあい ともに歩む健康わくや

健康寿命の延伸	一次予防の重視	壮年期死亡の減少	疾病の重症化予防	地域づくり町づくり
健康で過ごせる期間を延ばそう	病気にならないようにしよう	働き盛りの死亡を減らそう	病気を悪化させないようにしよう	家族や地域のつながりを活発にしていこう

生活習慣病予防対策

生活習慣病の
発症予防と重症化予防

よい食習慣の定着

日常生活の
運動量の増加

受動喫煙防止や禁煙の推進
アルコールによる
高カロリー摂取の防止

口腔の機能低下予防

4. 中間評価と後期計画の重点項目の考え方

1) 評価指標の達成状況

	全 体	特定健診 がん検診	食 生 活	運 動	たばこ アルコール	歯の健康	計
評 価 項 目 数	8 項 目	14 項 目	15 項 目	4 項 目	7 項 目	10 項 目	58 項 目
達 成 改 善 傾 向	1 (12.5%)	5 (35.7%)	8 (53.3%)	3 (75%)	6 (85.7%)	7 (70%)	30 (51.7%)
変 化 な し 悪 化 傾 向	3 (37.5%)	9 (64.3%)	7 (46.7%)	1 (25%)	1 (14.3%)	3 (30%)	24 (41.4%)
判 定 不 能	4 (50%)	0	0	0	0	0	4 (6.9%)

2) 重点項目ごとの評価

『特定健診・がん検診』

受診率の伸びは低いですが、休日の未健者健診実施や婦人科検診での託児サービス等住民の生活スタイルを勘案した対策で若干の受診者の増加がみられた。がん検診の精密検査受診率や特定保健指導率が低迷しており、健（検）診が早期治療や早期生活改善につながっていないことが考えられる。

今後は、健診未健者の分析や健（検）診結果を疾病予防に活かせるような支援を行い、自己管理ができるような活動が必要と考える。

『食生活』

高血圧等の原因となる塩分摂取習慣は改善傾向にあるが、塩分摂取量については目標に至っていない。また、子どもの野菜摂取については減少傾向にあり、3歳児健診では甘味飲料を毎日飲む割合が増えている。

今後は、塩分や野菜、甘味飲料の摂取習慣を中心にバランスの良い食習慣の確立が必要と考える。

『運動』

運動習慣を持つ人の割合は改善傾向にあるものの、一日歩数は減少している。生活習慣病の罹患を増やさないためにも、運動に取り組む機会の提供をはじめ運動ができる事業や施設等の情報を提供するとともに、幼児期から運動習慣が定着するような取り組みが必要と考える。

『たばこ・アルコール』

成人の喫煙率は低下してきているが、県比較では高い状況である。また、公共施設等では分煙が実施されている。しかし、子どものいる家庭では6割に喫煙者がいる状況もわかってきている。将来、喫煙しない成人を増やしていくためにも、早期の禁煙対策が必要と考える。

また、多量飲酒者の割合は減少しているものの、県比較では高い状況であるため、今後も適正量についての周知等を実施していく必要がある。

『歯の健康』

子どもの一人平均むし歯本数は目標を達成したが、12歳児で歯肉炎がある割合は高推移しており、甘味飲料を毎日飲む割合や歯垢ありの割合も多いことから、むし歯の増加が危惧される。また成人では60代の残存歯数や歯間清掃用具を毎日使用している割合が少なく、成人歯科健診の受診者数も少ないことから口腔に対する意識は低いと考える。「口腔機能」については言葉も知られておらず、これまで以上に知識の普及が必要である。

子どもの頃からのむし歯予防、歯磨きの習慣化や磨き方の習得、食生活や生活習慣の改善と正しい知識の普及が必要である。

それぞれの重点項目をこれまで以上に推進するためには、まず特定健診やがん検診を受診することで、自分の健康状態を把握し、生活習慣の改善に取り組める支援が必要と考える。

評価の指標		H24年 (現状値)	H24年 (訂正值)	H25年	H26年	H27年	H28年	評価 ◎○△×	最終目標			
特定健診・がん検診	特定健診受診率の向上	50.1%	50.8%	51.1%	51.3%	50.5%		△	60%			
	肺がん検診受診率の向上	42.9%	42.9%	45.4%	44.3%	42.3%	45.1%	○	50%			
	大腸がん検診受診率の向上	30.3%	30.3%	32.7%	32.4%	31.7%	31.8%	○	50%			
	胃がん検診受診率の向上	15.6%	15.6%	14.7%	14.8%	16.3%	18.3%	○	30%			
	子宮頸がん検診受診率の向上	19.5%	19.5%	21.1%	22.7%	21.3%	23.3%	○	30%			
	乳がん検診受診率の向上	23.5%	23.5%	20.6%	30.7%	26.0%	30.8%	○	40%			
	大腸がん精密検査受診率の向上	84.3%	79.7%	83.2%	71.4%	—	—	×	100%			
	特定保健指導率の向上	初回面接実施者割合	55.6%	56.9%	34.7%	30.6%	27.0%	—	×	60%		
		完了者(法定報告)	—	44.9%	26.8%	27.8%	23.1%	—	×			
	BMI基準値者の割合の増加		66.8%	66.6%	67.7%	68.3%	66.9%	—	△	70%		
	メタボ該当者・予備群の減少		28.1%	28.3%	30.1%	28.7%	32.0%	—	×	25%		
	高血圧症で服薬中の割合を増加させない		39.6%	39.0%	40.0%	41.2%	41.7%	—	×	現状維持		
脂質異常症で服薬中の割合を増加させない		28.3%	28.2%	29.6%	32.6%	33.6%	—	×				
糖尿病で服薬中の割合を増加させない		8.5%	8.5%	9.5%	9.8%	10.0%	—	×				
食生活	味噌汁塩分濃度0.6%以上の割合を減らす	1-6歳児健診	45.2%	45.2%	44.6%	51.9%	42.7%	32.9%	◎	減らす		
		3歳児健診	68.1%	68.1%	46.3%	58.4%	49.3%	48.0%	◎			
	随時尿でのウロソルベールによる食塩摂取量の減少	男性	13.4g	12.5g	12.2g	13.1g	13.7g	12.5g	○	9g		
		女性	13.0g	12.5g	12.2g	11.4g	12.3g	10.9g	○	7.5g		
	1食2皿以上の野菜を食べる人の割合	3歳児健診	生活に関するアンケート	今後把握	今後把握	今後把握	42.7%	43.8%	43.3%	37.9%	×	増やす
			幼児			34.0%	28.9%	26.0%	×			
		小学生	33.5%	32.2%	32.4%	×						
		中学生	58.0%	52.9%	53.4%	×						
	特定健診	男性	61.9%	71.8%	66.9%	67.4%	○	減らす				
		女性	76.0%	79.3%	74.1%	75.8%	×					
甘味飲料の摂取量と頻度	3歳児健診	生活に関するアンケート	今後把握	毎日飲む割合を減らす	今後把握	29.3%	64.8%	76.0%	70.2%	×	減らす	
		幼児			25.8%	24.2%	24.0%	○				
	小学生	31.1%	24.1%	28.9%	△							
	中学生	60.4%	52.9%	37.5%	◎							
特定健診	10.6%	6.7%	6.0%	5.3%	◎							
運動	1回30分以上、2回/週、1年以上実施している人の割合を増加させる	33.4%	32.7%	32.2%	32.7%	35.6%	—	○	50%			
	体を動かすことが好きと回答する割合を増加させる	57.7%	57.7%	58.4%	57.9%	57.7%	61.3%	○	75%			
	日常生活において歩行または同等の身体活動を一日1時間以上実施している人を増やす	33.4%	54.0%	53.1%	55.6%	55.6%	—	◎	50%			
	一日の歩数が増加する人の割合を増加させる	今後把握	5000歩以上割合	36.5%	36.1%	33.7%	32.2%	×	増加させる			
たばこ・アルコール	たばこの害について正しい知識を周知した人数を増加させる	今後把握	ポスター掲示、チラシ配布数	10か所 790枚	6か所 559枚	7か所 1071枚	10か所 1039枚	△ ○	増やす			
	喫煙習慣者の割合を減少させる	成人総数	19.3%	19.6%	18.5%	18.2%	18.3%	—	○	10%		
		成人男性	34.8%	35.3%	33.0%	32.8%	32.4%	—	○	17%		
		成人女性	6.2%	6.1%	6.4%	5.4%	5.6%	—	○	3%		
	公共施設の全数禁煙・分煙の実施	残1か所	残1か所	残1か所	残1か所	全数	全数	◎	全数			
適正量以上(1日2合以上)の摂取者の割合を減少させる	12%	10.0%	9.0%	9.7%	9.4%	—	◎	10%				
歯の健康	むし歯のない割合を増加させる	1-6歳児健診	97.3%	97.3%	94.8%	99.1%	97.0%	97.8%	◎	現状維持		
		3歳児健診	68.6%	68.6%	77.7%	81.0%	65.1%	79.8%	○	80%以上		
		12歳児(中1)	34%	34%	38.9%	46.4%	53.3%	53.4%	○	55%		
	一人平均むし歯本数を減らす	1-6歳児健診	0.1本	0.1本	0.3本	0.01本	0.08	0.07	◎	現状維持		
		3歳児健診	1.4本	1.4本	1.2本	0.9本	1.4本	0.6本	◎	1本以下		
		12歳児(中1)	1.9本	1.9本	1.7本	1.8本	1.6本	0.96本	◎	1本以下		
	歯肉炎の割合を減らす	12歳児(中1)	16.3%	16.3%	23.6%	69.3%	62.2%	62.4%	×	10%以下		
成人歯科健診の受診者数を増加させる	144人	144人	103人	140人	114人	87人	×	増加させる				
歯間清掃用具を毎日使用する割合を増加させる	22.4%	22.4%	26.2%	25.4%	22.6%	29.5%	○	40%				
60歳代の残存歯数が25本以上の割合を増加させる	86%	86%	65.8%	70.2%	76.5%	78.8%	×	増加させる				
全体	平均寿命の延伸	男性	78.48歳	78.48歳	—	—	—	—	—	伸ばす		
		女性	86.25歳	86.25歳	—	—	—	—	—			
	健康寿命の延伸	男性	77.11歳	77.11歳	—	—	—	—	—	伸ばす		
		女性	83.75歳	83.75歳	—	—	—	—	—			
	要介護認定率の減少		15.5%	16.9%	17.3%	17.9%	16.8%	—	△	増やさない		
がん死亡割合の減少		24%	24%	22.0%	26.7%	31.0%	21.6%	◎	減らす			
子どもの肥満者割合の減少	小5	16.1%	16.1%	17.5%	9.8%	11.3%	16.3%	△	減らす			
	中2	15.3%	15.3%	13.5%	16.6%	19.0%	17.4%	×				

5. 後期計画重点項目と目標

	重点項目	目 標
がん特定健診 検診	生活習慣病の発症予防と重症化予防	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健診・がん検診・精密検査受診率の向上 2 特定保健指導実施率の向上 3 適正体重を維持している者の増加 4 生活習慣病の重症化を防ぐ
食生活	よい食習慣の定着	<ol style="list-style-type: none"> 1 食塩の摂取を減らす 2 野菜の摂取量を増やす 3 甘味飲料の摂取を減らす
運動	日常生活の運動量の増加	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動習慣のある人、積極的に身体活動をする人が増える
アルコール たばこ	<p>受動喫煙防止や禁煙の推進</p> <p>アルコールによる高カロリー摂取の防止</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 成人の喫煙を防止する 2 たばこの害について知っている子どもが増える 3 分煙・禁煙の施設が増える 4 適正飲酒の人が増える
歯の健康	口腔の機能低下予防	<ol style="list-style-type: none"> 1 むし歯を減らす 2 重篤な歯周病のある人を減らす 3 口腔機能について知っている人を増やす

6. 後期計画目標と行動計画

	目標と行動計画	主な実施内容
特定健診・がん検診	<ol style="list-style-type: none"> 1 特定健診・がん検診・精密検査受診率の向上 <ol style="list-style-type: none"> ①受診勧奨の実施 ②インセンティブ事業の実施 ③未健(検)者健(検)診の実施 ④受診環境の整備 ⑤個人や職場等で受けた健診結果提出の推進 ⑥健診内容を知ってもらうための活動 ⑦働き盛り世代への健康管理等の周知 ⑧がん検診精度管理の整備 2 特定保健指導実施率の向上 <ol style="list-style-type: none"> ①必要性の周知と受けやすい体制づくり 3 適正体重を維持している者の増加 <ol style="list-style-type: none"> ①肥満対策の実施 4 生活習慣病の重症化を防ぐ <ol style="list-style-type: none"> ①生活習慣病重症化予防事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診+がん検診受診でポイント授与、抽選で賞品の付与 ・生活習慣病重症化予防事業の実施 ・特定保健指導の必要性の周知 ・特定保健指導動機付対象者の集団指導の実施 ・過去連続未受診者の把握と受診勧奨 ・健(検)診申込で受けない理由を把握し、理由別の個別受診勧奨 ・健(検)診受診率に応じた未健(検)者健診の実施 ・精密検査該当者への精検対応医療機関の提示等 ・特定健診対象者を選定した個別電話勧奨 ・会場の選択制、休日健診の実施 ・事業所健診の結果を受領できるよう健診団体を含めた体制整備
食生活	<ol style="list-style-type: none"> 1 食塩の摂取を減らす <ol style="list-style-type: none"> ①塩分を多く含む食品の摂取頻度と摂取量の把握 ②汁物の塩分濃度測定の実施 ③尿中塩分濃度測定の実施 ④適塩講話や調理・試食の実施 ⑤ノー漬物デーの推進 ⑥適塩レシピの紹介と配布による周知 2 野菜の摂取量を増やす <ol style="list-style-type: none"> ①野菜の摂取頻度と量の把握 ②野菜の大切さについて講話や調理・試食の実施 ③主食・主菜・副菜をそろえて食べることの周知 ④野菜レシピの紹介と配布による周知 3 甘味飲料の摂取を減らす <ol style="list-style-type: none"> ①甘味飲料の摂取頻度と摂取量の把握 ②甘味飲料に含まれる砂糖の量などの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・食習慣の実態把握 (生活に関するアンケート調査、尿中・汁物の塩分測定) ・簡単にできる適塩・野菜料理レシピの配布とHPへの公開 ・甘味飲料の砂糖量と食品塩分量の揭示(教育施設や医療福祉センター) ・幼児期からの食習慣の大切さの周知 ・働き盛り世代への望ましい食習慣の周知 ・給食時間を活用しての食育講話の実施

	目標と行動計画	主な実施内容
運動	<p>1 運動習慣のある人、積極的に身体活動をする人が増える</p> <p>①運動習慣について情報収集する ②適切な運動について普及啓発活動を行う ③運動機会の提供と周知を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動についての取り組み状況の確認と情報の提供(町内関係機関) ・ながら運動や親子遊びの紹介(筋ちゃん体操も含め、HP や SNS の活用) ・幼児期からの運動習慣の定着(乳健) ・運動教室の継続実施と支援(元気アップ教室の実施、自主グループの拡大と講師派遣)
たばこ・アルコール	<p>1 成人の喫煙を防止する</p> <p>①たばこの害についての周知 ②家庭内の分煙や防煙についての知識の普及</p> <p>2 たばこの害について知っている子供が増える</p> <p>①小学生への知識の普及</p> <p>3 分煙・禁煙の施設が増える</p> <p>①地区集会所等の禁煙の推進 ②公共施設等の敷地内禁煙・分煙の推進 ③町主催の行事での禁煙の推進 ④飲食店への禁煙・分煙の協力依頼 ⑤禁煙・防煙・分煙の健康講話の実施</p> <p>4 適正飲酒の人が増える</p> <p>①出前講話の実施 ②保健指導で飲酒量が多い人への注意喚起</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内集会所での喫煙状況調べ ・飲食店への受動喫煙防止登録の推奨 ・企業等へたばこ・アルコール講話の継続 ・小学生への防煙対策パンフレット配布の継続 ・乳幼児健診での喫煙状況調べと喫煙家族への禁煙、分煙、防煙対策の推奨 ・町内行事での禁煙推進 ・特定保健指導で飲酒量が多い人への指導
歯の健康	<p>1 むし歯・重篤な歯周病のある人を減らす</p> <p>①むし歯・歯周病予防について知識の普及 ②口腔にあった磨き方の習得 ③食習慣・生活習慣の改善の働きかけ ④歯科健診の受診による口腔内の把握 ⑤歯科健診結果の集計と分析</p> <p>2 口腔機能について知っている人を増やす</p> <p>①口腔機能に関する知識の普及啓発を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢にあった歯科教育と指導の実施(乳幼児健診、ハイリスク者の複数回フッ化物塗布、ピッカピカ教室、児童セルフケア教室、歯ッピータイム事業) ・幼児保育施設でのフッ化物洗口事業 ・働き盛り世代への歯科健診の実施と受診率増加(妊婦歯科健診の実施) ・歯科健診結果の集計、分析 ・喫煙と歯周病の関係の周知 ・口腔機能向上の講話等の実施(地区活動等)

7. 評価指標

評価指標		H24年度 (現状値)	H28年度 (中間評価)	目標値 (H34年)	出典元	
特定健診・ がん検診	特定健診受診率の向上	50.1%	50.5% ^{※4}	60%	法定報告	
	肺がん検診受診率の向上	42.9%	45.1%	50%	活動計画 書統計 (大腸がん精検 率は2年遅れ)	
	大腸がん検診受診率の向上	30.3%	31.8%	50%		
	胃がん検診受診率の向上	15.6%	18.3%	30%		
	子宮頸がん検診受診率の向上	19.5%	23.3%	30%		
	乳がん検診受診率の向上	23.5%	30.8%	40%		
	大腸がん精密検査受診率の向上	84.3%	71.4% ^{※3}	100%		
	特定保健指導 率の向上	初回面接実施者割合	55.6%	27.0% ^{※4}	60%	法定報告
		完了者(法定報告)	44.9% ^{※1}	23.1% ^{※4}		
	BMI基準値者の割合の増加		66.8%	66.9% ^{※4}	70%	
	メタボ該当者・予備群の減少		28.1%	32.0% ^{※4}	25%	
	高血圧症で服薬中の割 合を増加させない	全 体	39.6%	41.7% ^{※4}	現状維持	
		40～64歳 ^{※5}	—	30.1%	増加させない	
	脂質異常症で服薬中の割 合を増加させない	全 体	28.3%	33.6% ^{※4}	現状維持	
		40～64歳 ^{※5}	—	25.1%	増加させない	
	糖尿病で服薬中の割合 を増加させない	全 体	8.5%	10.0% ^{※4}	現状維持	
40～64歳 ^{※5}		—	7.6%	増加させない		
脳血管疾患受療率を増加させない ^{※5}		3.2%	3.3%	増加させない	KDBシステム	
虚血性心疾患受療率を増加させない ^{※5}		4.2%	4.1%			
人工透析者数を増加させない ^{※5}		0.3%	0.5%			
食 生 活	味噌汁塩分濃度 0.6%以 上の割合を減らす	1.6健診	45.2%	32.9%	20%	1.6健診
		3歳児健診	68.1%	48.0%	30%	3歳児健診
	随時尿でのウロトペーパー による食塩摂取量の減 少	男性	13.4g	12.5g	8g未満	特定健診
		女性	13.0g	10.9g	7g未満	
	1皿2皿以上の野菜を食 べる人の割合 ※幼児以下では1皿50gが目安 小学生では1皿70gが目安 小鉢 は1皿、中皿は2皿とする	3歳児健診	42.7% ^{※2}	37.9%	60%	3歳児健診
		幼 児	34.0% ^{※3}	26.0%		生活に関 するアン ケート
		小学生	33.5% ^{※3}	32.4%		
		中学生	58.0% ^{※3}	53.4%	80%	特定健診
	成人男性	61.9% ^{※2}	67.4%			
	成人女性	76.0% ^{※2}	75.8%			
甘味飲料の摂取量と頻 度(毎日飲む割合を減ら す)	3歳児健診	29.3% ^{※2}	70.2%	30%	3歳児健診	
	幼 児	25.8% ^{※3}	24.0%	20%	生活に関 するアン ケート	
	小学生	31.1% ^{※3}	28.9%			
	中学生	60.4% ^{※3}	37.5%			
特定健診	10.6% ^{※2}	5.3%	4%	特定健診		

	評価指標	H24年度 (現状値)	H28年度 (中間評価)	目標値 (H34年)	出典元	
運動	1回30分以上、2回/週、1年以上実施している人の割合を増加させる	33.4%	35.6% ^{※4}	50%	法定報告	
	体を動かすことが好きと回答する割合を増加させる(小学生)	57.7%	61.3%	75%	生活に関するアンケート調査	
	日常生活において歩行または同等の身体活動を一日1時間以上実施している人を増やす	33.4%	55.6% ^{※4}	60%	法定報告	
	一日の歩数が増加する人の割合を増加させる(5000歩以上の割合)	36.5% ^{※2}	32.2%	増加させる	特定健診アンケート	
たばこ・アルコール	たばこの害について正しい知識を周知した人数を増加させる	ポスター掲示	10か所 ^{※2}	10か所	増加させる	活動計画書
		パンフレット配布	790枚 ^{※2}	1039枚	増加させる	
	喫煙習慣者の割合を減少させる	成人総数	19.6%	19.3% ^{※4}	10%	法定報告
		成人男子	35.3%	34.8% ^{※4}	17%	
		成人女子	6.1%	6.2% ^{※4}	3%	
	妊婦の喫煙率を減少させる ^{※5}	—	10.1%	5.0%	母子手帳交付	
	子どものいる家庭での喫煙率を減少させる	幼児 ^{※5}	—	66.1%	55%	生活に関するアンケート調査
		小学生 ^{※5}	—	65.2%		
		中学生 ^{※5}	—	68.1%		
	副流煙の害について知る中学生を増やす ^{※5}	—	74.7%	90%以上		
公共施設の敷地内禁煙・建物内禁煙・分煙の実施	分煙	残1か所	全数	全数	活動計画書	
	敷地内禁煙 ^{※5}	—	13か所	20か所		
適正量以上(1日2合以上)の摂取者の割合を減少させる	全体	12.0%	9.4% ^{※4}	10%	法定報告	
	男性 ^{※5}	—	18.2% ^{※4}	12%		
	女性 ^{※5}	—	1.6%	1%		
歯の健康	むし歯のない割合を増加させる	1.6健診	97.3%	97.8%	現状維持	1.6健診
		3歳児健診	68.6%	79.8%	80%以上	3歳児健診
		12歳児	34%	53.4%	55%	数しらべ
	一人平均むし歯本数を減らす	1.6健診	0.1本	0.07本	現状維持	1.6健診
		3歳児健診	1.4本	0.6本	1本以下	3歳児健診
		12歳児	1.9本	0.96本	1本以下	数しらべ
	歯肉炎の割合を減らす	12歳児	16.3%	62.4%	10%以下	数しらべ
	成人歯科健診の受診者数を増加させる	144人	87人	増加させる	成人歯科健診	
	歯間清掃用具を毎日使用する割合を増加させる	22.4%	29.5%	40%	特定アンケート	
	60歳代の残存歯数が25本以上の割合を増加させる	86%	78.8%	増加させる	成人歯科健診	

	評価指標	H24年度 (現状値)	H28年度 (中間評価)	目標値 (H34年)	出典元
全 体	平均寿命の延伸	男性	78.48歳	伸ばす	国勢調査
		女性	86.25歳		
	健康寿命の延伸	男性	77.11歳	伸ばす	KDBシステム (H28年度 より)
		女性	83.75歳		
	要介護認定率の減少		15.5%	16.8%※4	増やさ ない
がん死亡割合の減少		24%	21.6%	減らす	活動計画書
子どもの肥満者割合の減少	小5	16.1%	16.3%	増やさ ない	数しらべ
	中2	15.3%	17.4%		

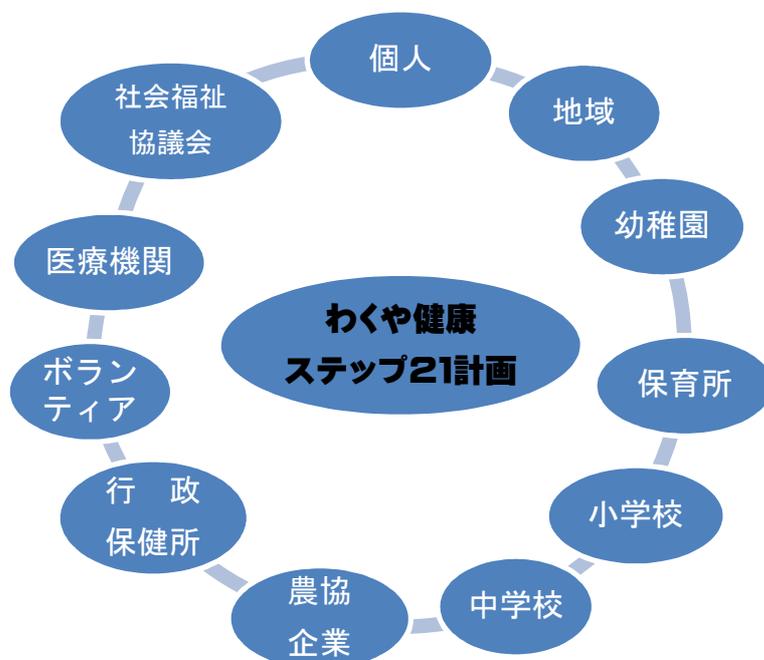
※1:H24年訂正值 ※2:H25年度値 ※3:H26年度値 ※4:H27年度値

※5:新規追加評価指標

8. 計画の推進体制

各領域に掲げた目標を達成するために、町民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」ことを目指し、また関係団体・行政が一体となって健康づくりに取り組むことが重要です。今後も関係機関や関係団体の代表で構成する「第二次わくや健康ステップ21計画推進会議」の継続設置、さらにこれまで連携を重ねてきた教育機関や職域団体、健康推進員協議会等のさまざまな団体と役場の関係部署とのさらなる協働を図り、計画を効率的に推進していきます。

また、「第二次わくや健康ステップ21計画」のさらなる周知を図りつつ、多くの住民に現状を理解してもらいながら、住民の目線で計画推進のための方策を一緒に考える機会を、増加させていきたいと考えます。このような活動を地道に行うことが「住民主体の健康づくり」の一つとなり、その積み重ねが「人づくり」「町づくり」につながると考え、推進体制の拡大・拡充を図っていきます。



9. 計画の進行管理・評価体制

町民、関係団体、行政の協働で策定しているこの計画は、関係機関や関係団体の代表で構成する「第二次わくや健康ステップ21計画推進会議」において年度毎に健康づくりに関する実施状況を確認し、進行管理を行います。

また計画の最終年度である平成34年度に最終評価を行い、目標の達成状況を把握し、次に目指す方向性を明確にし次期計画の策定に活かしていきます。

10. 後期計画策定の経過

年月日	内容等	参加者 人数
平成 29 年 11 月 15 日 (水)	第一回わくや健康ステップ 2 1 計画懇話会 ・ 委嘱状交付 ・ 21 計画の概要と中間評価 ・ 評価と課題について	9 名
平成 29 年 12 月 5 日 (火)	第二回わくや健康ステップ 2 1 計画懇話会 ・ 実施内容について ・ 青壮年期への働きかけについて	13 名
平成 29 年 12 月 18 日 (月)	第三回わくや健康ステップ 2 1 計画懇話会 ・ 後期計画 (案) について ・ 計画の推進について	12 名
平成 30 年 3 月 1 日 (木)	健康と福祉の丘運営委員会 ・ 第二次わくや健康ステップ 2 1 計画後期 計画最終案の審議、決定	—

第二次わくや健康ステップ 2 1 計画 (後期計画) 懇話会委員構成

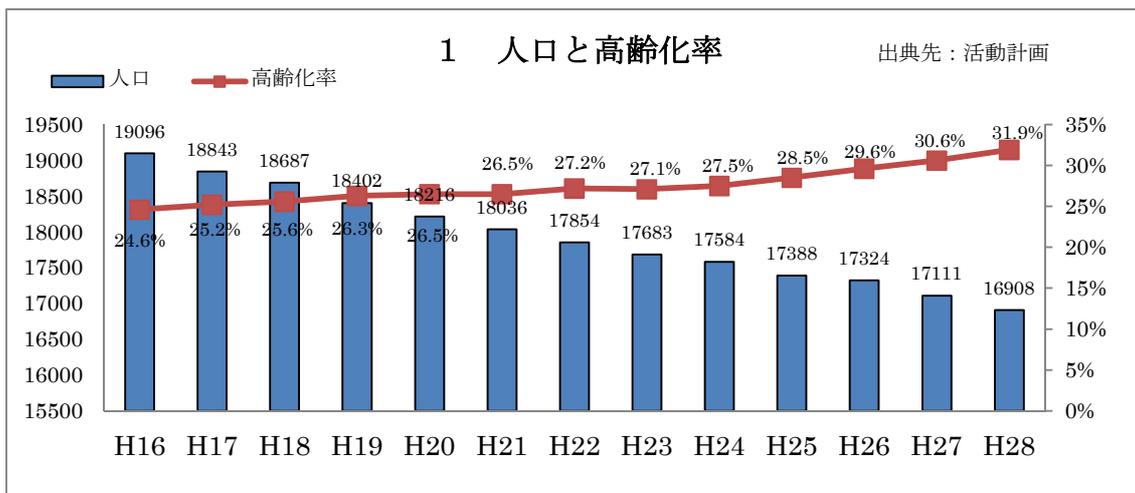
所 属	委 員
21 計画策定メンバー	一号委員
遠田商工会商業部会 部会長	二号委員
遠田商工会工業部会 副部会長	二号委員
涌谷町健康推進員協議会 副会長	二号委員
涌谷町行政区長会 会長	二号委員
おひさまスマイル	二号委員
みどりの農協協同組合涌谷支店	二号委員
涌谷町社会福祉協議会地域福祉課係長	二号委員
涌谷幼稚園主任(幼稚園主任会)	二号委員
涌谷第一小学校養護教諭(養護教諭部会)	二号委員
健康課国保介護班(テータルス・介護保険計画担当者)	三号委員
企画財政課(総合計画担当者)	三号委員
福祉課福祉班(地域福祉・障害者計画担当)	三号委員
大崎保健所健康づくり支援班	三号委員

一号委員・・・第二次わくや健康ステップ 2 1 計画策定委員

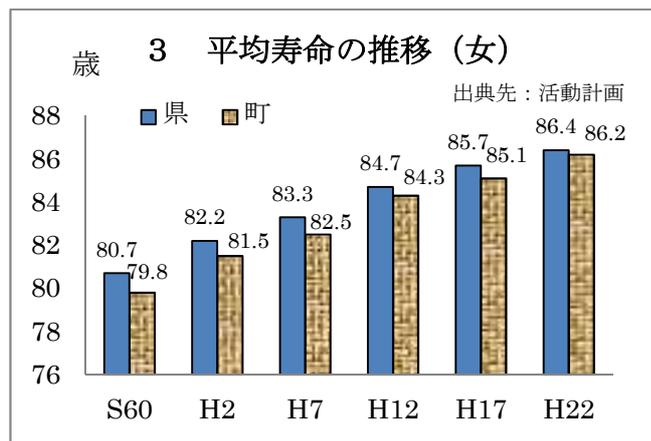
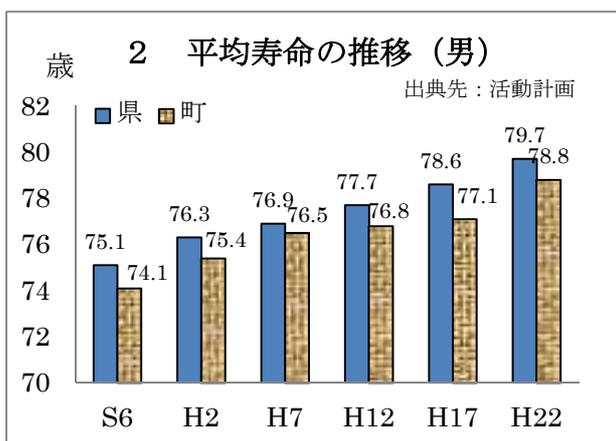
二号委員・・・一般町民、関係・推進団体役員や職員

三号委員・・・関係行政機関の職員

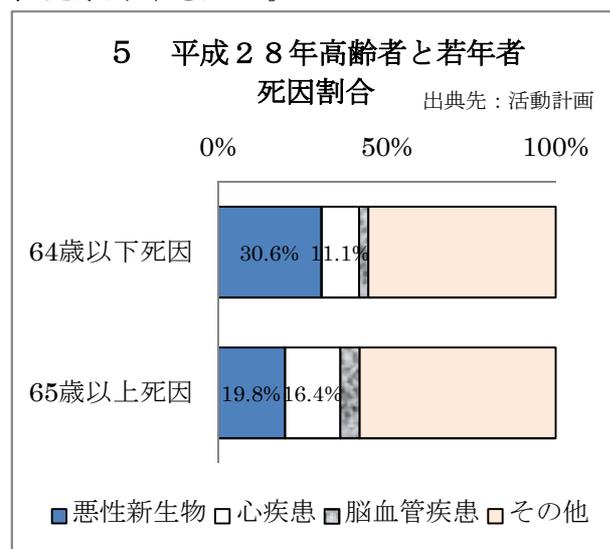
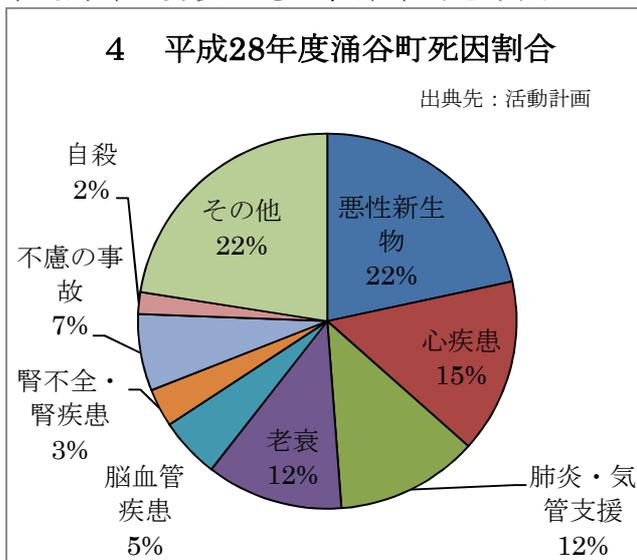
統計資料



高齢化が進んでおり、今後ますます高齢者の増加が見込まれる。出生数の低下からも、人口の自然減少が進むと思われる。



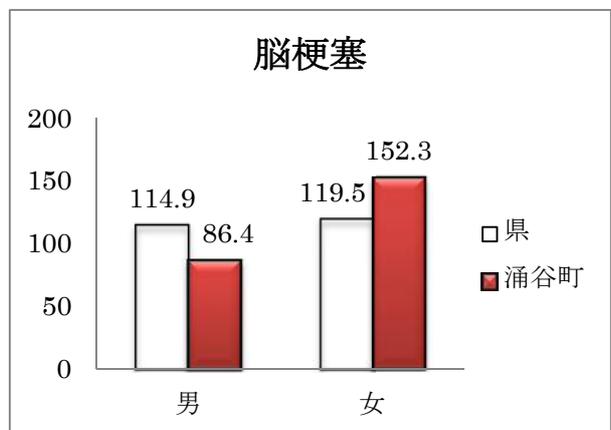
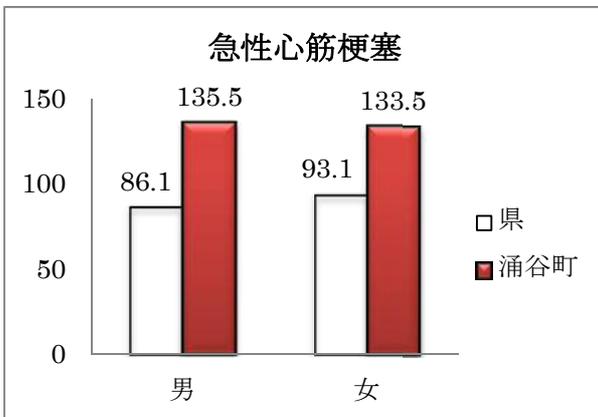
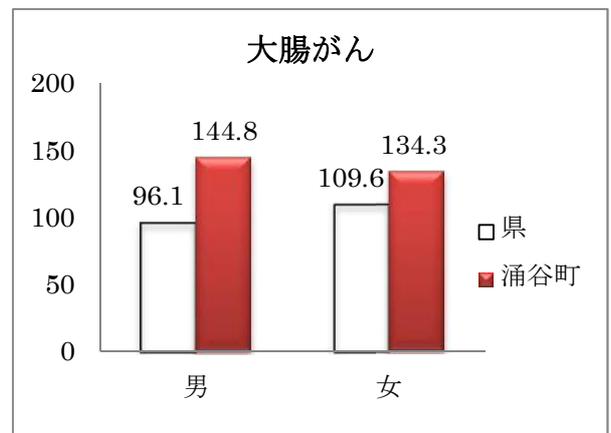
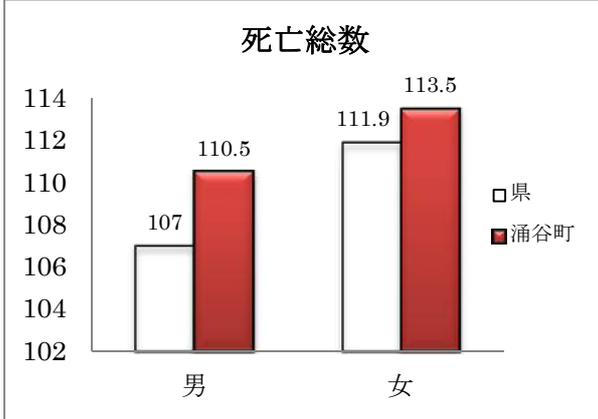
平均寿命は男女ともに、県平均を下回っており、健康寿命も短い。



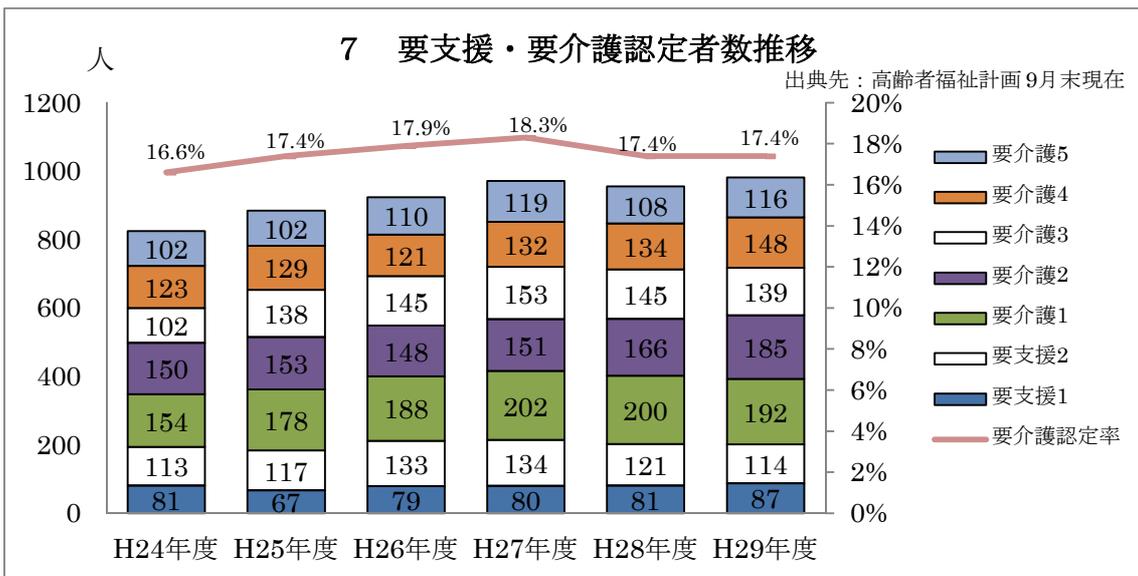
死因の割合はほぼ例年同様。生活習慣病と関連が大きいものが約半数を占める。

6 市町村別標準化死亡比 (SMR) H20~24年

出典先：データヘルス計画



<SMR とは・・・年齢調整死亡率＝人口構成を標準人口と同じにしたときの死亡率>
SMRの値を県と比較するといずれも高い傾向にある。



要支援・要介護認定者数は増加傾向にあるものの、認定率はほぼ横ばい。

8 生活習慣病のうち重症化疾患の主な有病者状況

対象レセプト	全体	脳血管疾患	虚血性心疾患	人工透析	
生活習慣病 の有病者数 構成割合	2,169人	171人(7.9%)	213人(9.8%)	25人(1.2%)	
	基礎 疾患の 重なり	高血圧症	138人(80.7%)	176人(82.6%)	23人(92.0%)
		糖尿病	52人(30.4%)	75人(35.2%)	12人(48.0%)
		脂質異常症	100人(58.5%)	155人(72.8%)	7人(27.6%)

出典先：データヘルス計画(平成27年5月診療分)

9 重症化疾患の人数と年間医療費

疾患	人数	医療費(万円)
虚血性心疾患	213人	6,182
脳血管疾患	171人	5,435
慢性腎不全(透析あり)	25人	13,349
合計	409人	24,966

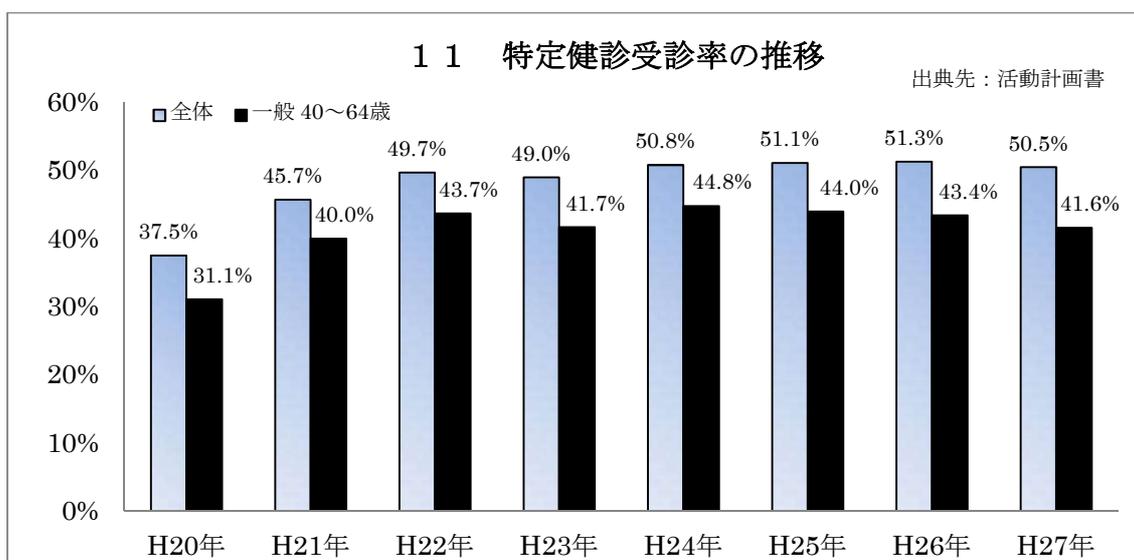
出典先：データヘルス計画
(平成27年度累計より)

10 レセプト千人当たり透析患者数

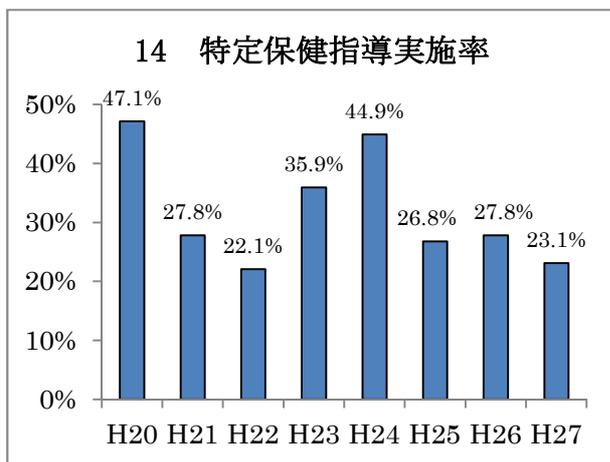
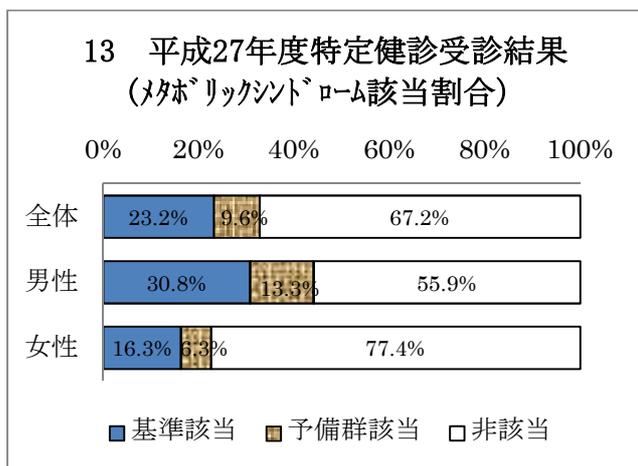
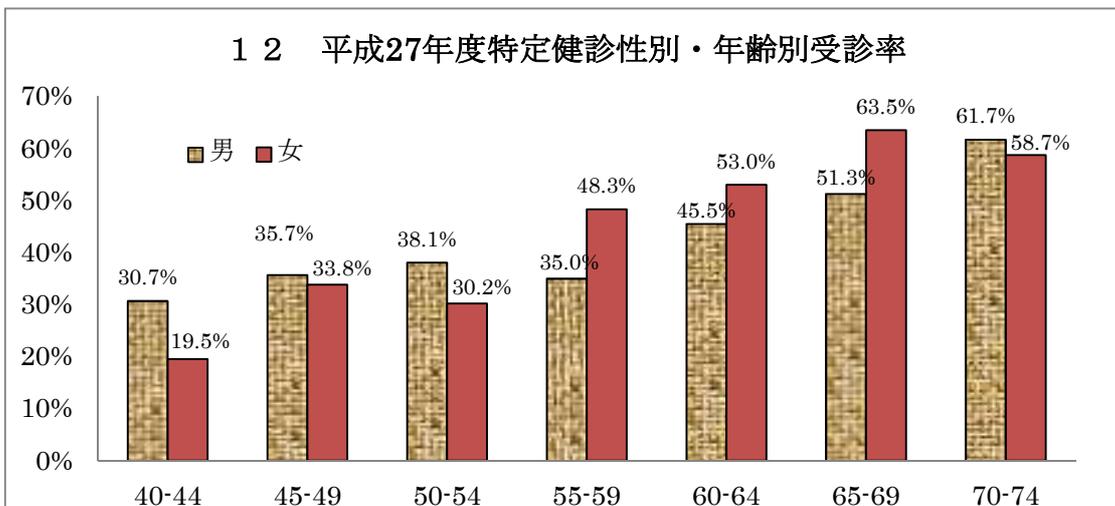
	涌谷町	同規模市町村	県	国
1件当たり 人工透析医療費	442,320円	465,620円	462,380円	475,440円
被保険者千人当たり 人工透析レセプト数	5.0件	3.4件	3.6件	3.1件
レセプト千人あたり人工 透析新規患者数(月発症)	0.2414人	0.128人	0.127人	0.120人

出典先：データヘルス計画(平成27年度累計より)

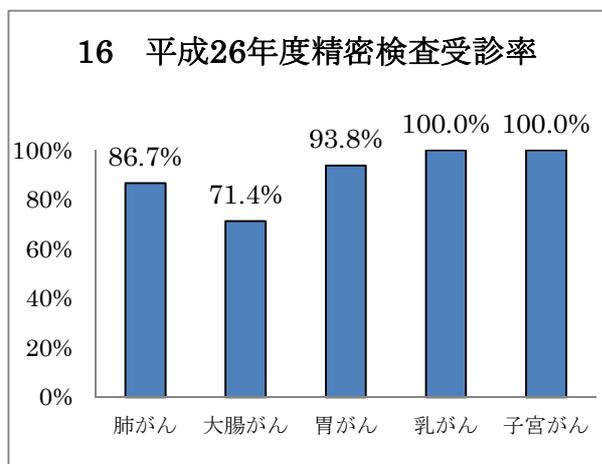
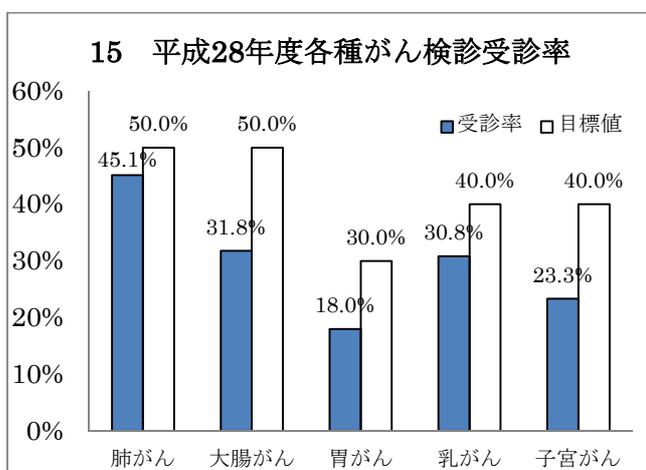
人工透析医療費は他と比較すると低額であるが、レセプト数、新規患者数が同規模、県、国より多くなっており、人工透析者の9割が高血圧症を持っている。



出典先：活動計画書

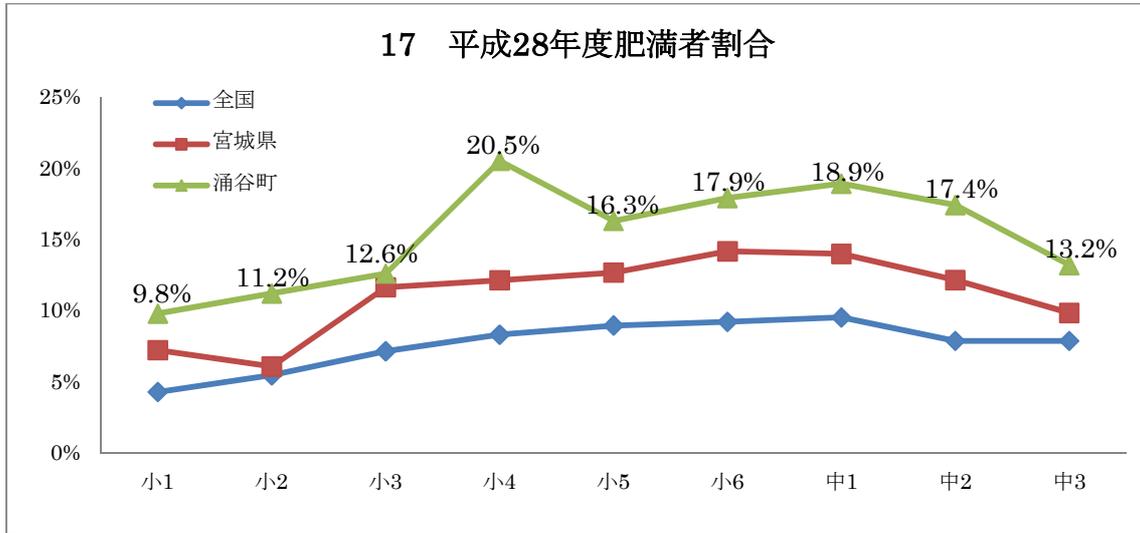


特定健診受診率はほぼ横ばいで、受診者内訳をみると若い世代の受診者が少ない。また、メタ該当者は男性が多く、保健指導実施率は低い。

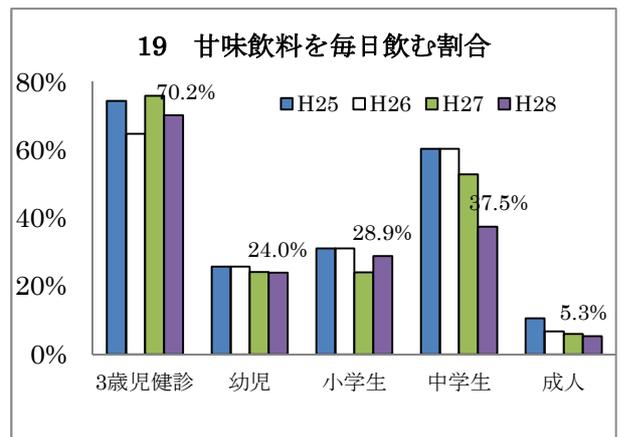
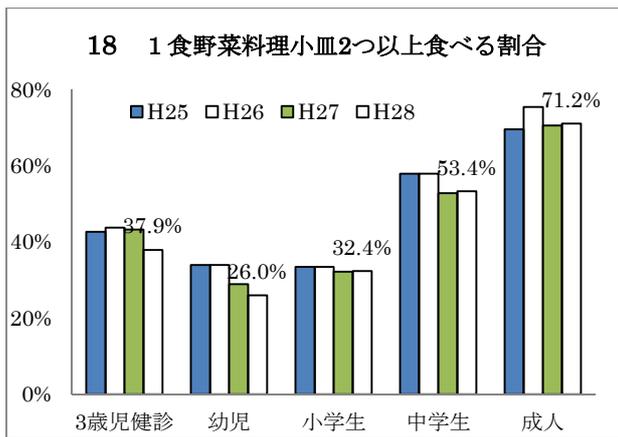


受診率が目標に達しておらず、精密検査受診率も全てが100%になっていない。

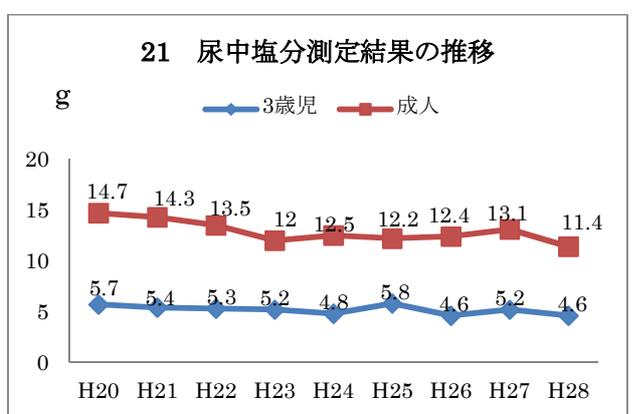
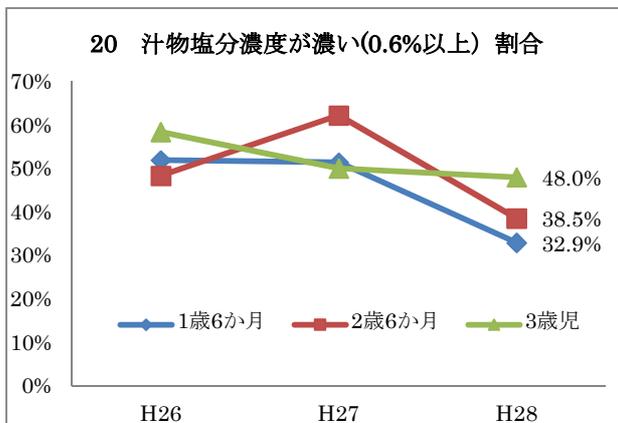
出典先：活動計画書



全国、県と比較して肥満者が多い。



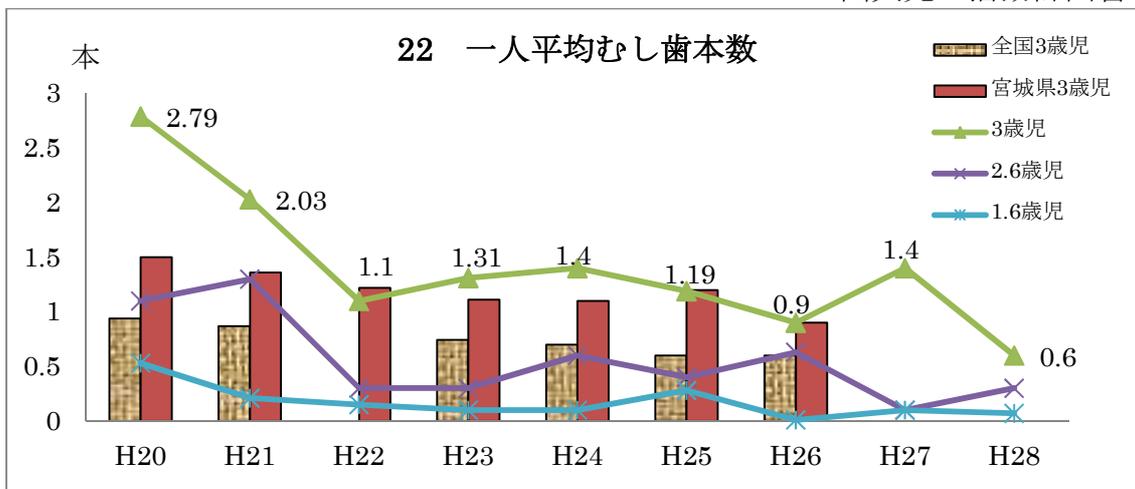
特に子どもの野菜摂取割合が少なく、甘味飲料を毎日飲む割合が多い。



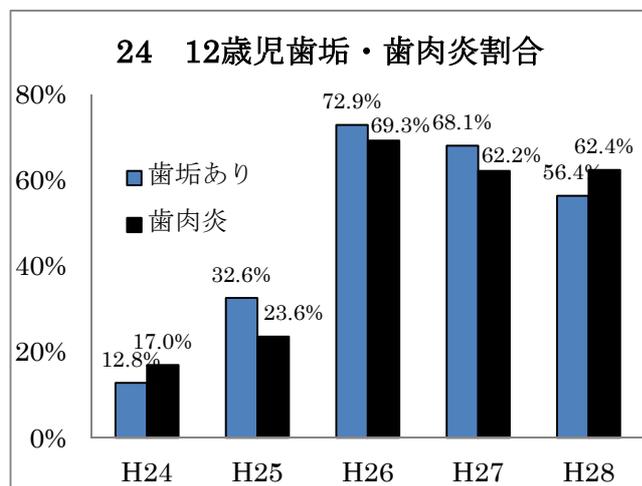
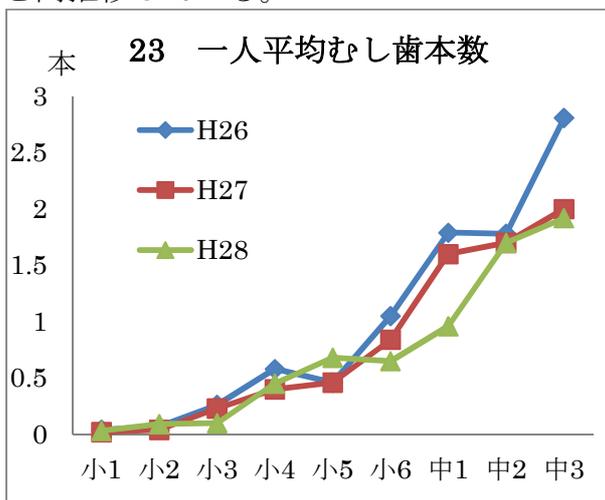
※目標値 大人 8g 未満、子ども 4g 以下

汁物の塩分濃度は薄くなってきているが、尿中塩分測定結果はまだ多い。

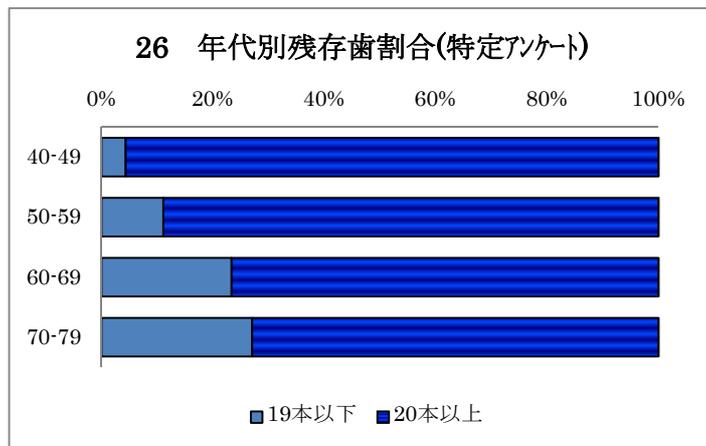
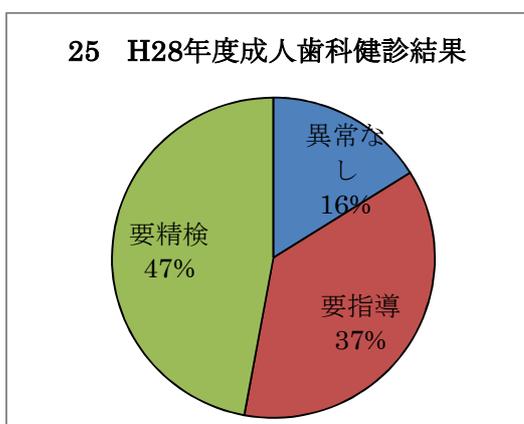
出典先：活動計画書



3歳児むし歯本数は減少傾向にあるが、1歳6か月児むし歯本数は県内でみると高推移している。



小中学生のむし歯本数は減少傾向にあるものの、歯垢・歯肉炎割合が高推移。



成人歯科健診結果は約8割が要指導・要精検で、年代があがると残存歯数も少なくなる。

第二次わくや健康ステップ2 1 計画後期計画書

発行日：平成30年3月

企画編集：涌谷町町民医療福祉センター 健康課健康づくり班

〒987-0121

宮城県遠田郡涌谷町涌谷字中江南278

TEL 0229(43)5111

FAX 0229(43)5717

e-mail gr-suishin@town.wakuya.miyagi.jp

